

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス BOW開明 I		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの個性を活かした、自由度の高い支援を心掛けています。 自主性に重きを置いて、自分から発信できるように支援をしています。	スケジュール作成時、安全面を考慮し みんなが楽しく過ごせるように考案しています。 自分が何をしたいか言いやすいように、スタッフとの壁を作らないような接し方を工夫しています。	外遊び等が出来る様に、安全に計画の作成に努めています。
2	年齢や障害特性などの幅が広く、お友達との関りが限定的になりにくい所。	個性に合わせた支援が出来る様に、スケジュールを細分化して提供しています。	室内の物の配置等を考え、身体を動かしやすいような環境を整える様にしていきます。
3	保護者様との関係性を慎重に大切にしております。	モニタリングやアセスメントにおいて、保護者の方の困ったことなどを言いやすい環境づくりに努めています。	SNSで活動の様子など掲載しています。 会社アカウントで保護者様とメールでの連絡を取れるようにしています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の場が少ない。 自主性に重きを置いており専門的支援には特化してない。	外部への発信が少ない。	地域の方たち交流が持てるような企画を検討中です。 SNSでの告知をする。 職員全員が日々スキルアップできる環境を整える。
2			
3			